※令和４年度以降入学生用

学校番号	322

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次（普通科）
使用教科書	「新編　言語文化」　（数研出版）						
副教材等	改訂版読解をたいせつにする要点プラス体系古典文法（数研出版）、新訂国語図説六訂版（京都書房）、新訂国語図説六訂版準拠学習課題ノート（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文学的文章（近代以降の小説・古文・漢文など）を読み、我が国の伝統的な言語文化について考えを深め、学習の土台となる「読む力」を養います。
・教科書だけでなく、文法書や図説・一人一台端末なども使います。また、グループで意見を出し合うこともあるので、積極的に参加するようにしましょう。
・日々の授業で理解を深めることが重要です。授業を大切にしてください。
・定期的に家庭学習等の提出物があります。

２　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	地域の「ことば」 ［教材］ 「とんかつ」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	古文の世界を楽しむ1 ［教材］ 「宇治拾遺物語（児のそら寝）」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	受け継がれる古典 ［教材］ 「羅生門」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：積極的に自らの作品世界を構築し、学習課題に沿って自分の考えを文章にしようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
二学期	詩歌を味わう1 ［教材］ 「サーカス」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	古文の世界を楽しむ2 ［教材］ 「宇治拾遺物語（検非違使忠明）」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：本文を通釈したうえで積極的に慣用句の意味用法を調べ、学習課題に沿ってオリジナルの短文を作ろうとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	現代にも生きる教え ［教材］ 「徒然草（丹波に出雲といふ所あり）」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		c：上人の失敗の原因に結びつく記述を本文から粘り強く探し出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。			
	日本語の中に生きる漢文 ［教材］ 「訓読のきまり」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 c：漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	故事と成語 ［教材］ 「虎の威を借る狐」	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c：故事成語の用例を調べて発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	語感を磨く ［教材］ 「側転と三夏」	a：文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができている。 c：進んで題名の意味を解釈し、学習課題に沿って話し合いに参加することができている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	詩歌を味わう2 ［教材］ 「俳句十二首」	a：我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[書]：自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。 c：積極的に俳句の作成に取り組み、見通しを持って、句会に参加しようとしている。	定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
三学期	昔と変わらない人の心1 ［教材］ 「伊勢物語（芥川）」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c：和歌に込められた心情を粘り強く解釈し、学習課題に沿ってそれを現代語の短歌に書き直そうとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	昔と変わらない人の心2 ［教材］ 「伊勢物語（筒井筒）」	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート

※令和４年度以降入学生用

		c:登場人物の行動や状況について積極的に自分と引きつけて捉え、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。			

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　(　　)時間

・書くこと　…　(　5　)時間

・読むこと　…　(　65　)時間